

小日向商会有限会社の取組

取組のタイトル	規格外合板の再利用
取組の時期	(始期) 令和4年7月～ 継続中
関連するSDGsの ゴール・ターゲット	 12 つくば再生 フロンティア ターゲット : 12.5
取組内容	<p>昔、本州の住宅産業会社が輸入したチーク合板4ミリ厚が、現在の規格（F☆☆☆☆）では住宅には使えないので廃棄される予定でした。</p> <p>当社で製造している地質調査用コア箱のフタの部材として2枚張り合わせて8ミリ厚に再合板して使用しています。</p>  

小日向商会有限会社 SDGs 取り組み事例

12 つくる責任
つかう責任



1983年～

創業の思いは「もったいない」
必要な部分だけ使われて、残りは捨てられていた合板（ベニヤ板）
家具には使えないけど、他の使い道があると思い、幅広い産業に使い道を
搜してみました。また、規格品の合板から無駄なく取り合わせることによって
端材を極力少なくしています。
端材はクリーニング工場の燃料として再利用、おがくずは家畜の糞尿と混ざら
ることによって堆肥として使われています。
合板工場の生産時に出てくる規格外品（B品）の買い取り、端材の買い取りも行い
森林資源を無駄なく使う努力をしています。

15 陸の豊かさも
守ろう



4 質の高い教育を
みんなに



2003年～

札幌の高等養護学校の授業の教材として、地質調査時のボーリングに使われる
コア箱を年間生産量の一部を製造してもらいました。(2019年終了)

2022年から、旭川春光会にて製造をしてもらっています。
障害者施設だからといって安い工賃ではなく、民間と同じ工賃で組み立て作業
をしてもらっています。

10 人や国の不平等
をなくそう



また、旭川刑務所においても、加工の作業委託をしています。
搬入、搬出の手間はかかりますが社会貢献だと思い継続しています。

8 働きがいも
経済成長も



2009年～

昔は残業ばかりしている会社でしたが、残業中の非効率さが目立っていました。
効率化を求めるために17時終業を実施してみました。
早く帰宅したいために、日中の効率も上がり、作業時間は短くなりましたが、
作業効率は同じになり、無駄に長時間使っていた電気代も安くなっています。

5 ジェンダー平等を
実現しよう



2018年～

創業当時のトイレは入り口が一つ、男性用小便器の横を通過して和式便器個室に向かう
レイアウトでしたが、気がつけば女性従業員も増えてきたので、男性用洋式便器個室、
女性用洋式便器個室にリフォームしています。
男女共に気を使わないで用を足すことができるようになりました。



合板加工のプロフェッショナル
小日向商会有限会社



(小日向商会有限会社 / 私たち) は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。